

シンポジウム

「日本社会の変容と伝統文化ー田辺市方言に注目してー」

日 時 平成31年1月26日（土）午後1時30分～午後5時

会 場 田辺市中部公民館 大集会室

講 師 真田 信治 氏（大阪大学名誉教授）
中井 精一 氏（富山大学教授）
大西 拓一郎 氏（国立国語研究所教授）
岸江 信介 氏（徳島大学教授）
ダニエル・ロング 氏（首都大学東京教授）

参加者 62名

近世以来続いてきた伝統的な日本人の暮らしは、幾度かの画期を経て大きく変容し、祭礼や口承文化、地方方言の特徴が徐々に薄れ消滅の危機に瀕しています。

今回のシンポジウムでは、田辺市や周辺地域で行われた方言調査をもとに研究された、田辺市方言の特徴や変化についてご講演いただき、地域文化の変容やその背景についてパネルディスカッションを行いました。このシンポジウムをとおして、あらためて田辺市に残る文化を再確認する良い機会となりました。



パネルディスカッション



基調講演・基調報告・研究報告



田辺祭を活かした地域活性化事業シンポジウム

日本社会の変容と伝統文化

～田辺市方言に注目して～

近世以来続いてきた伝統的な日本人の暮らしは、戦後幾度かの画期を経て大きく変容し、少子高齢化と東京一極集中によって、人びとによって営まれてきた祭礼や口承文化、地域方言についてもその特徴が徐々に薄れて消滅の危機に瀕しています。

一方で、たとえば泉州地域では、岸和田に代表される「だんじり祭り」と「泉州弁」が深く関係し、そのいずれもが脈々と地域で受け継がれているとの指摘もあります。

本シンポジウムは、近年、田辺市および周辺地域で実施した方言調査にもとづいて、調査に取り組んだ研究者たちが、本市方言の特徴や変化について報告するとともに、地域文化の変容やその背景について考えます。

日時 平成31年1月26日(土) 午後1時30分～5時00分

場所 田辺市中部公民館 大集会室 (田辺市上屋敷一丁目2番1号)

主催 田辺祭を活かした地域活性化事業実行委員会

基調講演 「日本の方言研究からみた紀南地方の古態性」

大阪大学名誉教授 真田 信治 先生

基調報告 「和歌山県沿岸域の言語動態」

富山大学教授 中井 精一 先生

研究報告1 「『新日本言語地図』から見える紀南方言域」

国立国語研究所教授 大西 拓一郎 先生

研究報告2 「『近畿言語地図』に見る紀伊半島沿岸部の特徴」

徳島大学教授 岸江 信介 先生

研究報告3 「無敬語地帯と言語景観」

首都大学東京教授 ダニエル・ロング 先生

パネルディスカッション

お問い合わせ

田辺市文化振興課 電話:0739-26-9943 ※入場無料・申込み不要

田辺祭を活かした地域活性化事業実行委員会

本シンポジウムは、平成30年度文化庁
文化芸術振興費補助金を受け実施します。

文化庁